

巨大災害に強い 安全社会の構築に向けて

2011年3月11日に東日本を襲った大地震と津波は、広範な地域にわたり甚大な被害をもたらしました。そして東日本大震災の政治的、経済的、社会的影響は被災した地域にとどまらず、日本全体、世界中にも広がっています。

このシンポジウムでは、日欧で震災の情報を共有し、それぞれの専門家が超広域災害と複合災害が社会にもたらす影響について議論します。そして、災害に強い安全な社会の構築に向けて日欧間でも協力していくことを確認します。

シンポジウム

日時：平成23年 **9月19日**（月）

会場：ブリュッセル自由大学（ベルギー）

ワークショップ

日時：平成23年 **9月20日**（火）

会場：神戸大学
ブリュッセル自由大学（ベルギー）
（ビデオ会議システムで中継）

プログラム

9月19日（月）

開会 減災社会実現のための日欧の学術連携の取り組み 9:00～9:40

挨拶：福田秀樹（神戸大学長）

挨拶：塩尻孝二郎（欧州連合日本政府代表部特命全権大使）

挨拶：Mrs Manuela Soares（欧州委員会研究イノベーション総局環境局長）

挨拶：Ms Paola Albrito（国連減災国際戦略機構ヨーロッパオフィス代表）

挨拶：Prof Paul De Knop（ブリュッセル自由大学長）

第1部 東日本大震災の現象 10:00～12:00

吉岡祥一（神戸大学都市安全研究センター教授）

「東北地方太平洋沖地震の概要と津波」

真野 明（東北大学附属災害制御研究センター教授）

「仙台湾岸域における3.11津波と湾岸防災システムの被災」

小田啓二（神戸大学海事科学研究科長）

「日本の原子力発電所と放射線災害の現状」

田中泰雄（神戸大学都市安全研究センター長）

「地盤災害、インフラ被害、その他の被害状況」

第2部 東日本大震災の影響 13:00～15:00

石川雅紀（神戸大学経済学研究科教授）

「東日本大震災におけるがれきと廃棄物処理（仮）」

金子由芳（神戸大学国際協力研究科教授）

「東日本大震災における復興へ向けた被災者ニーズと政策調整の課題」

森岡正芳（神戸大学人間発達環境学研究科教授）

「希望を生む協働へー人間への心理社会的サポート」

室崎益輝（関西学院大学教授、神戸大学名誉教授）

「被災コミュニティの復興と非被災地からの支援」

第3部 パネルディスカッションー安全な社会の構築に向けてー 15:30～18:00

コーディネーター：武田廣（神戸大学副学長）

パネリスト：欧州の研究者及び第1部・第2部の報告者

欧州の研究者：Mr Denis Peter, European Commission

Prof Hormoz Modaressi, BRGM

Prof Jochen Zschau, GFZ German Research Center for Geosciences

Prof David Alexander, Global Risk Forum GRF Davos

9月20日（火）

学生ワークショップ 17:00～19:00（神戸）、10:00～12:00（ブリュッセル）

東日本大震災の被災地におけるボランティア活動について、
ビデオ会議システムを利用して、欧州と神戸の学生が議論します。

お問い合わせ：神戸大学国際交流推進本部

Tel 078 803 5282 Fax 078 803 5049

E-mail intl-relations@office.kobe-u.ac.jp